

財政事情は？

現状と今後の見通しを考える

平成19年度がスタートし、これからさまざまな分野で事業を展開していきます。

そこで、にかほ市の財政事情を市民の皆さまから知っていただくために、現在の財政状況と今後の対応についてお知らせします。

財政状況の現状と見通し

◆国からの交付金が減少し、悪化が予測される財政状況

にかほ市の財政は、歳入の約65%を国からの交付金などに依存し、成り立っています。

しかし、近年、国が急進してきた「三位一体改革」により、地方交付税や負担金、補助金などの交付金が大幅に減少し、今後も交付抑制が続くものと見込まれます。

歳出面では、社会福祉関係に

おける扶助費が増加、また、景気対策で取り組んできた公共事業関係の市債償還額など、義務的経費が年々増えています。

今後、10年間には大型事業の計画があり、その財源は地方債に依存していることから、公債費の大幅な減少は見込めず、財政調整基金（貯金）や各種目的基金を取り崩しの厳しい財政運営となる見込みです。

（表1をご参照ください）

◆平成18年度末地方債残高

にかほ市の借入金の累積残高は、18年度末で約353億円となる見込みです。

これは、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計を含んだ残高で、うち一般会計の残高は約199億円の見込みです。

一般会計における返済のピークは今年度の約23億円で、象潟中学校建替事業および学校給食共同調理場建替事業の元金償還が始まる22年度にはピーク時の約23億円に近づきますが、その後はわずかに減少し、28年度には20億円台を切る見込みです。

◆平成18年度末の貯金は？

にかほ市には、現在21の基金があります。

18年度末の残高は、一般会計が16基金で約33億円、国民健康保険事業などの特別会計が5基金で約4億円となる見込みです。

一般会計のうち一般家庭の貯金に当たる財政調整基金は、約9億円の見込みですが、今年度の当初予算において不足財源に充てるため、5億円を取り崩す予定になっています。

18年度は、当初予算時4億円の取り崩しを予定していましたが、最終的には約1億5千万円の取り崩し額になる見込みです。

財政調整基金は、本来、大幅な税収減や災害復旧のような予期せぬ支出に備え、積み立てておくものです。

しかし、最近では歳入不足が続いており、その補てんのため財政調整基金の残高は減少しています。

表2は、16年度実績から20年度推計までの財政調整基金の推移を表したものです。

表2. 財政調整基金の推移



今後の対応

◆総合文化施設の整備など大規模事業の実施は？

今後計画している「仁賀保中学校建替事業」や総合文化施設を核にした「まちづくり交付金事業」については、19年度予算に仁賀保中学校体育館耐力度調査や敷地造成工事測量設計の各委託費、まちづくり交付金事業基本計画書策定委託費を計上し、国の事業採択に向けて着手しますが、その財源や規模、整備後の維持管理費などについては、十二分に検討し、特にまちづくり交付金事業の実施メニューについては市民の理解を得て推進します。

◆より一層の経費削減に取り組みます

にかほ市では、一層の経費削減のため、18年3月に策定公表し、19年3月に修正を加えた「にかほ市行政改革大綱」に「にかほ市集中改革プラン」に基づき徹底した行政運営の合理化に取り組んでいきます。

また、約1億5千万円の市税滞納分について適切な徴収を実施

お詫びと訂正

広報にかほ4月1日号の4ページ、にかほ市各会計予算記事、水道事業会計は
 正:「7億2,704万円」
 誤:「7億3,862万8千円」
 市の予算総額は
 正:「237億9,667万1千円」
 誤:「238億0,825万9千円」
 です。
 お詫びして訂正いたします。

表1. にかほ市の収入（歳入）と支出（歳出）の決算推計

年度		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	備 考
区分		普通会計決算	普通会計決算	普通会計決算	普通会計推計	普通会計推計	
歳 入	市税（町税）	30億0,458万円	35億4,483万円	29億8,603万円	32億8,834万円	32億2,000万円	市民税、固定資産税など
	地方交付税	47億0,925万円	47億5,482万円	43億3,322万円	43億7,951万円	43億4,200万円	地方交付税（国からの交付金）
	地方債	12億1,950万円	16億8,050万円	19億9,602万円	19億8,910万円	20億2,700万円	地方債（借入金）
	その他収入	45億7,092万円	57億5,656万円	46億1,105万円	42億9,757万円	40億6,000万円	国・県からの補助金など
	合 計	135億0,425万円	157億3,671万円	139億2,632万円	139億5,452万円	136億4,900万円	
歳 出	人件費	30億7,025万円	29億9,648万円	29億1,503万円	28億6,252万円	27億1,500万円	職員給与、議員、委員報酬など
	扶助費	13億8,184万円	15億4,221万円	18億5,202万円	19億7,796万円	20億2,500万円	各種福祉手当など
	公債費	22億2,576万円	20億6,416万円	22億1,902万円	22億9,095万円	22億4,900万円	借入金の返済金
	その他物件費	51億2,570万円	66億7,571万円	46億7,005万円	46億8,480万円	46億0,000万円	公共施設の管理運営費など
	投資的経費	13億5,301万円	21億3,478万円	21億3,702万円	20億1,204万円	19億7,000万円	公共施設や道路建設、改良費など
合 計		131億5,656万円	154億1,334万円	137億9,314万円	138億2,827万円	135億5,900万円	
歳入と歳出の差額		3億4,769万円	3億2,337万円	1億3,318万円	1億2,625万円	9,000万円	

注）平成16年度の決算額は、旧3町、消防組合および衛生施設組合を合算したものです。

注）表中の「普通会計」とは、一般会計および各特別会計のうち、国民健康保険事業特別会計、老人保健特別会計、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、観光施設整備特別会計を除いたものです。